

土岐・運・来

会報「土岐・運・来」第22号

発行 自然・馬・人の会

発行日 2003年7月20日

只今の会員数 正会員 51名

協力会員 29名

賛助会員 2名

《5人の女性騎乗者と15人の足軽隊・名づけて"女武者騎馬隊"》

「自然・馬・人の会」の.....

北條五代祭りに！

＝2003年5月3日＝



- ・北條五大祭りに！ P.1
- ・かっこよかったです P.2
- ・今日はうまく乗れた P.2
- ・自分自身が楽しんで P.3
- ・歯磨きしないと・・・ P.3
- ・会員さんに聞きました P.4

私が
正真正銘
先頭で.....

～のほり持ち担当～

山北町
野坂哲也さん

始めに五代祭りのパレードに参加しませんかと言われた時には、私みたいにろくに馬を扱えない人が出て大丈夫かなあと不安だったのですが、後のビールが美味そうだからというまったくもって不純な動機で参加しました。

なにせパレードなる物に出るのも、時代劇に出てくるような衣装を着るのも、初めてのことで、ワクワクドキドキのしっばなしでしたが、一番ワクワクしたのは、やはりパレードのスタート直前でした。私たち馬の会は、パレードの先頭だったのですが、私は轡持ちを担当したのでそのまた先頭、正真正銘の先頭だったのです。

門の前で待機していると祭りのスタッフの人から「この門の向こうには観客のかたがいっぱいいらっしゃいます。門が開いたら、私たちは先導しますが、ゆっくり歩いて行ってください」と言われ、「ウ～ム、こりゃステーションの幕やなあ」と思っていると、「では、門開きまーす」の一声。ついに幕いや門が開きました。

すると目の前に広がったのは、人、人、人、歓声、歓声、歓声、カメラ、カメラ、カメラ、、、(もっともお目当ては眼鏡かけたおっさんではなく、美しいお姫様たちとかっこいい馬たちなのですが)。そのときの私は、ニヤケ半分緊張半分の、奇妙な人相をしていたと思います。

そして、パレードも無事終わり、みんなで飲んだビールは最高においしかったです。

(2003年6月 寄稿)

(女武者騎馬隊を見に行きました)

一言でいって、
「かっこ良かったです」



小田原市「ゆかのパパ」さん

北條五大祭りに女武者騎馬隊が参加される情報を得ましたので見に行きました。

家族全員（と言っても3名ですが）生まれて初めて見に行ったのですが、一言で表すならば

『かっこ良かったです!!』

やはり歴史的な背景に基づいて構成されて

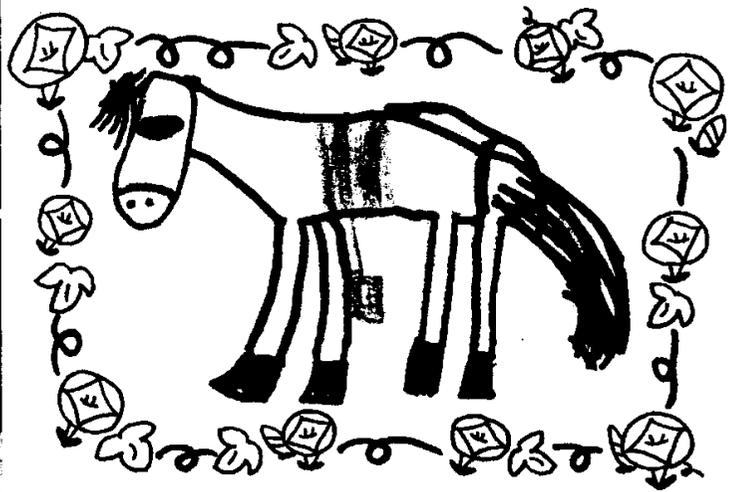
いることから 騎馬隊はマッチするのは当然ですが、女武者騎馬隊というのは、また華やかで良かったです。

近所の子供で、乗馬会に参加してくれている娘さんもいっしょに見に行きましたが、憧れの眼差しで見えていましたよ!!

関係者の方々も準備や当日の対応に大変かと思いますが、「自然・馬・人の会」の活動が色々な人に伝わり、興味を持っていただける様、微力ながら宣伝していきたいと考えています。



(5/5 メール受信)

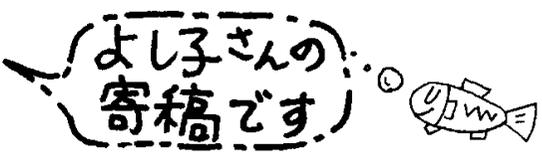


今日はうまく 

乗れたので...
横浜市瀬谷区 宮原淑子さん

5月18日 日曜日 天気 くもり
今日、小田原に毎月のしょうばにいけてよかったです。うまくのれたのできもちよかったですし、ストレスがかいしょうできて、むねがあつくいっぱいになりました。今度のるのも楽しみにしています。

中村悦子さんのしょうかいで、いつもメールをおくってくださるので、かんしゃのきもちでいっぱいになります。けいばみたいのにのればいいとおもい



ます。上手になって、それであべちゃんといっしょのじかんでうれしかったです。いつも、日曜日はさしこをしりしてたのしみがありません。馬にのるのも、たまったストレスがなくなるので安心していきます

《2003 年度総会参加のコメント》

自分自身が楽しんで いいんだ!! ☆ 🍷 🍷

小田原市 阿久津真理子さん

4月20日に、小田原市民会館5階の和室に於いて2003年度の「自然・馬・人の会」の総会が、少人数で和気あいあいと開催されました。昨年からボランティアとして乗馬会に参加している私にとって、今回が初めての総会でしたがとても意義ある総会になりました。

ボランティアとして乗馬会に参加することは、私の中では、あくまでも“乗馬をする人の為のお手伝い”と思っていました。ですから、自分自身が楽しむ余裕などあまりなかったように思います。でも、今回総会に出席して、皆さんのお話を伺うことができて、「この会は、みんな同じ立場で集まって、その中で助け合いながら自分ができることをやればいいんだ」ということを、ハッキリと確認することができました。これからは、“誰かの為に”ではなく、“自分の為に”肩の力を抜いて楽しみながら参加していこうと思います。

歯磨きしないと、 乗馬会に行かないぞ!

開成町 渡辺明彦くんのお父さん

この乗馬会への参加は、小田原アリーナで行われた時が初めてで、明彦は最初からニコニコで6回も繰り返し乗りましたよ。今でもその時の気持ちは続いていて、風呂に入らない、歯磨きをしないなどということ聞かないときには、「乗馬会に行かないぞ」と言うところとちゃんとやる程の効果をおあげしていますよ。自分のやりたいことには、一生懸命になれるようです。また、人のいる場所が好きで、うちで気分を悪くしてもここに来るとニコニコしています。

この乗馬会で印象的だった出来事は、いつだったか、急にヒョウがふぶきのように降ってきて、中断したことがありましたね。それと、つい先月まで元気だった田中さんや陽香さんと急なお別れがあったことですね。

明彦が馬にのっている間だけでもと言われて、ボランティアを始めましたが、役に立っているのでしょうか。私は、ほかにも子どもたちに太鼓を教えるボランティアをしています。乗馬会には、乗っている人に気を使って動いていながら、ぎすぎすした物がない穏やかな楽しさがあり、太鼓には、もえるような人を高揚させる楽しさがありますね。(2003年5月 村山聞き取り)



- 安西正利さん -

訃 報

会員の安西正利さんが、5月31日不慮の事故でお亡くなりになりました。

生前は折にふれ、会の運営に対して、いろいろなアイデアを出してくださっていました。

昨年、娘さんの陽香さんを亡くされたばかりでした・・・。

ご冥福をお祈りいたします。

《会員紹介コーナー》

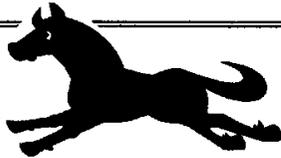
ミルキーとハイジの

『会員さんにお聞きしました!』

たった1年で、ここまで覚えて、
大輔くんって、ホントに頼もしい。



～横浜市・山本達三さん、真理さん
大輔くん、真佑ちゃん



大輔くんは横浜市立盲学校に通う14歳。乗馬会には、
通い続けて丸1年。目も耳も全く不自由なのに、馬の
上では自分で自分の身体を直せるようになり、時には
にっこりほほえんだりして・・・みんな「たいした
もんだ」と感心しています。

そんな頼もしい大輔くんについて、お母さんの真理
さんが話してくれました。

— 大輔君のような目の見えない子にとって、乗馬っ
てどんな意味があるのでしょうか。

(母) 特殊教育総合研究所というのがあって、その重
複障害の研究部門で、盲ろうの人の趣味として、乗馬
が薦められています。目からも耳から情報が入らない
ので、体感が一番刺激としていいということです。

— 馬以外にも何かあるんですか？

(母) 水を感じるプールとか、風を感じるブランコとか。
身体全体で感じるものですね。

馬にも普通の姿勢ではなくて、寝そべて背中中で感
じたり、馬の揺れや温もりを身体全体で感じたり、大
輔もそんな乗り方で馬を感じる事ができたらなあ。

— というのは？

(母) まだ本人、馬に乗ってるということが分かってな
いと思うんです。「なんか揺れて気持ちいい」と思っ
てるだけで・・・

でも確かに、楽しいことだということだけは、わか
ってきましたけど・・・

— そうです。みんな「たいしたもんだ」って言って

ますよ。

(母) 日頃は何かもくりかえしの中で覚えてゆけ
ないのです。学校も毎日行ってるから自分で
すすんでいきます。トイレも自分でできます。が、
たまにしか行かない所はわからない。誘っても歩
かなくなっちゃう。

でも馬に関しては、月1回で丸1年。10回し
かやってないのに、ここまでできるようになりました。
馬の刺激が本人にとってわかりやすいもの
だったのだと思いました。

— 大輔くんがさらにどんな風に成長してくれ
たいと思いますか？

(母) 自分から「もっと乗りたい」とか「降りるの
ヤダ」とか言ってくると・・・

大輔のような盲ろうの子のコミュニケーション
は、身ぶりのサインとかオブジェクト(食事のと
きはスプーンとか、外出は帽子とか、物に触れて
理解する)なのですが、馬のぬいぐるみとかで乗
馬に「行きたい」とかになってくれたらなあ(笑)。

でも、ここに来ると馬の上で揺れて、楽しい
顔してくれるようになっただけでもいいかなあ
って・・・



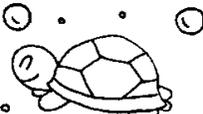
(2003年4/13取材坂梨)



後援：小田原市



助成：子どもゆめ基金・ともしび基金果実事



「自然・馬・人の会」 会長 桜井 広利

〒250-0045 小田原市城山1-3-22

TEL 0465-32-1308 FAX 0465-32-1332

E-mail na-nhp@wb3.so-net.ne.jp(中村)

ホームページ <http://members22.cool.ne.jp/~dhi/uma/>